

雑太城(檀風城, 新川城, 竹田城) (指定無) (佐渡市佐和田大字竹田) (妙宣寺)

雑太城（さわだじょう）は、佐渡国雑太郡（現在の新潟県佐渡市佐和田大字竹田字内新川）にあった日本の城（平山城）。別名は檀風城・新川城。中世に佐渡を支配した本間氏の居城であった。跡地は妙宣寺となっている。

概要

新川の城山（50m）から山麓（比高 5m ほどの微高地）にかけて縄張りがされた平山城である。鎌倉時代から南北朝時代にかけて大佛氏の支配下にあったが、室町時代には守護代の本間氏が自立して戦国大名に成長した。同氏と越後の上杉氏は、謙信の時代には緩やかな従属関係を結んでいたが、次代の景勝は佐渡に侵攻して本間氏を排除した。

江戸時代に佐渡全域が幕府直轄領となると、本間氏や上杉氏が築いた建物は一国一城令で破却された。

遺構・復元施設

- ・ 「檀風城址之碑」歌碑 - 日野資朝の「秋たけし 檀の梢吹く風に 雑太の里は 紅葉しにけり」の歌碑。
- ・ 本丸跡の石垣 - 石垣の前に「雑太城跡」説明版。二層の寺門が残る。
- ・ 土塁・空堀

Wikipedia による



城旅人による



余湖くんによる